

平成 22 年度  
事業計画書



熊本商工会議所

## 平成22年度事業計画

### — 会員企業・地域とともに、新たな時代の創造へ —

一昨年米国に端を発した世界規模の経済危機により大きなダメージを受けた日本経済は、ここへきて最悪期を脱し、上向き傾向にあると言われているものの、新たな不安定要素の発生や先行き不透明な経済情勢等から、地方や中小企業においては依然として自助努力では到底及ばない厳しい状況が続いている。

このような中、熊本は本年3月の植木町・城南町との合併による新市誕生、来春の九州新幹線全線開通、そして政令指定都市へと、極めて重要な時期に直面しており、将来に向けて、拠点性を持ち、魅力と品格を兼ね備えた、熊本を創造していく必要がある。

熊本商工会議所は、会員企業や地域の期待に応え、その使命と役割を果たすため、中小企業者と共に、域内振興と中小企業の活力強化を目指し、日本商工会議所をはじめとする関係機関、国・県・市等と強固な連携のもと、時代に即応した事業を推進する。

本年度は、中小企業支援や産業振興等の5項目を重要事業として掲げ、活発な委員会・部会活動、新設の「中小企業応援センター」を活用した中小企業支援の充実、都市基盤整備や中小企業施策・税制に関する提言・要望活動、会員企業訪問の継続などを通じ、積極的に会議所活動の浸透を図る。

特に、今年から新たに、九州の中心拠点都市に向けての将来ビジョンの検討や東アジアとの経済交流の検討をスタートさせるとともに、新幹線全線開通に備えた観光客満足度向上のための“おもてなし事業”にも取り組む。

地域総合経済団体である熊本商工会議所は、本年度掲げた事業を積極的に展開し、会員企業や地域と一体となって、この難局を乗り越え、新たな時代の創造へ向け、131年目のスタートを切る。

## 重 要 事 業

### I. 魅力ある元気企業創出のための中小企業支援強化

地域経済にとって中小企業の活性化がその源であり、新たに設けられる「中小企業応援センター」を積極的に活用した専門的で高度な中小企業支援を行い、熊本地域の発展に繋がる魅力ある元気企業の創出により、商工業の振興や観光振興に繋げる。

### II. 産業振興の推進

九州新幹線全線開通、その後の政令指定都市など熊本の将来にとって重要な時期、域内産業の振興発展のために積極的な事業展開を推進する。特に、今後の熊本を見据え、東アジア圏との経済交流の検討や観光客の満足度向上のための事業を実施する。

### III. 積極的な提言・要望活動の展開

道路・港湾・空港等の都市基盤整備は、地域の発展にとって必要不可欠であり、ひいては、将来の道州制導入を見据えた時、九州の中央に位置する地理的優位性を活かすことにも繋がる。また、中小企業支援に係る施策は、地域経済の根幹である中小企業の振興に大きな影響を及ぼすことから、国・県市の自治体等に対し、しっかりと経済団体をはじめとする関係諸団体と一体となって提言・要望活動を実施し、その実現に努める。

### IV. 政令指定都市実現と中心市街地等の活性化への積極的な取り組み

九州の拠点都市として、政令指定都市に相応しい熊本を目指し、機能性あふれる品格ある都市・街づくりに取り組み、中心商店街や地域商店街と連携のもと地域活性化を図る。併せて、今後の熊本がどうあるべきか、どのような未来にしていくか、ビジョンの検討を進める。

### V. 広報活動の充実

会員企業はもとより、数多くの方々に商工会議所活動・事業の理解と支持、さらには浸透を図るため積極的なPRと地元メディアと連携を図った広報活動を展開し認知度アップを目指す。

# 主 な 実 施 事 業

## 1 魅力ある元気企業創出のための中小企業支援強化

地域経済を支える中小企業の活力が原動力となって、熊本地域の発展に繋がるよう、拠点機能をフルに活かした積極的かつ高度な中小企業支援強化により、魅力溢れる元気企業の創出に努める。

- ・ 中小企業応援センターの積極的活用  
経営革新・創業・再生支援等の専門的で高度な中小企業支援
- ・ 経営・税務・取引・法律などの中小企業支援事業の実施
- ・ 各種制度融資（国・県・市等）の普及と金融斡旋及び金融相談会の開催
- ・ 熊本県中小企業再生支援協議会の拡充強化
- ・ エキスパートバンク事業による中小企業支援
- ・ 創業フォローアップ事業の実施
- ・ 各種講演会・セミナーの開催

## 2 産業振興の推進

九州新幹線全線開通、その後の政令指定都市を見据えた域内産業の振興発展のための事業展開を推進するとともに、大学や進出企業及び関係団体・機関と連携し、地域経済の振興発展を図る。

- ・ 九州新幹線全線開通に呼応した観光振興の推進と情報発信並びに観光関係団体等との連携強化
- ・ 東アジア圏との経済交流事業の検討
- ・ 支店長会等を軸とした企業間ビジネス交流の拡充
- ・ 「熊本よかBuy運動」展開による地元消費の促進と情報発信
- ・ 首都圏、関西、福岡経済人との交流事業の実施
- ・ 関西経済との交流促進とKANSAIプロジェクトに連動した事業の推進
- ・ 南九州商工会議所交流会議並びに姉妹商工会議所間の交流事業の実施
- ・ 観光客満足度向上のための“おもてなし事業”の実施

## 3 積極的な提言・要望活動の展開

地域の発展や中小企業の振興のため、国・県・市の自治体等に対し経済団体をはじめとする諸関係団体と一体となって積極的な意見・要望活動を実施し、その実現に努める。

- ・ 道路・港湾・空港等の都市基盤整備やその利活用並びに物流環境の整備促進  
（九州新幹線鹿児島ルート及び熊本駅周辺、熊本港、阿蘇くまもと空港、各地域高規格道路、都市公共交通）

- ・中小・小規模企業支援等に係る中小企業関係施策
- ・都市再生・まちづくりに関すること
- ・中小企業に係る税制改正に関すること

#### **4 政令指定都市実現と中心市街地等の活性化への積極的な取り組み**

23年春の九州新幹線全線開通、24年4月政令指定都市誕生へ向け、九州の拠点都市・熊本に相応しい機能性ある賑やかで品格ある街づくりを目指し、中心商店街や地域商店街と緊密な連携のもと地域活性化に取り組む。

- ・熊本市政令指定都市推進協議会を中心とした政令指定都市実現活動の推進
- ・熊本・100年ビジョンの検討
- ・政令指定都市に向けた市民参加型イベント等の実施
- ・熊本市中心市街地活性化協議会及び株式会社まちづくり熊本への協力
- ・「桜の馬場」をはじめ熊本城を核とした中心市街地の活性化
- ・中心商店街等との共催による各種イベント事業開催
- ・地域中心商店街連絡会議並びに地域情報ネットワーク事業による商店街活性化
- ・観光振興イベント事業への協力
- ・熊本まちづくり協議会への協力

#### **5 会員サービス事業の推進**

会員企業が商工会議所を身近な存在として実感できるための各種サービス事業を実施するとともに、事業所訪問を継続して実施することにより会員企業との接点を持ち、会議所が行う事業の浸透を図る。

- ・商工ひのくに・ホームページ及びメルマガ等による会員企業への情報提供  
(景気動向・景況、国・県・市の施策、通行量調査や新入社員意識調査等の各種調査)
- ・人材育成のための各種検定試験事業及びインターネット申込の検討  
(簿記、販売士、福祉住環境コーディネーター、カラーコーディネーター等)
- ・海外研修事業の実施
- ・共済・保険制度への加入促進と福利厚生事業の充実  
(経営セーフティ共済、小規模企業共済、生命共済、特退金制度、PL保険等)
- ・会員優待サービスの充実  
(商工ひのくにビジネス便、得々チケット、会館施設利用、講習会・保険等の割引等)
- ・中小企業大学校人吉校研修受講者への助成

## **6 広報活動の充実**

商工会議所活動と事業の理解を深め、浸透を図るため、積極的なPRを行うとともに、会員企業訪問による認知度アップを目指す。

- ・会報誌「商工ひのくに」の発行
- ・会員企業訪問「ONE to ONE」事業の継続実施
- ・ホームページやメルマガによる会議所活動及び事業の発信
- ・地域情報ネットワーク事業の実施
- ・地元メディアを中心としたニュースリリース

## **7 組織体制の強化**

安定した組織基盤の確立と職員の資質向上を図り、併せて業務の円滑な執行・運営を実施するための事務効率化・合理化を推進する。

- ・組織・財政基盤確立に向けた会員・共済加入の促進
- ・役員議員研修会並びに懇談会の実施
- ・事務局機能の充実と効率化・合理化の推進
- ・職員資質向上のための研修事業の実施
- ・新たな収益事業の検討

## **8 会議所運営について**

- ・議員総会、常議員会及び正副会頭会議の開催
- ・委員会、部会及び部会幹事会の開催
- ・県下商工会議所及び県内商工団体との協調連携